HONGKONG and MACAU ARCHITECTURAL WORKSHOP 2011 TRANSFORM from VERNACULAR

香港・マカオ建築都市ワークショップ2011「ヴァナキュラーからの変換」展示会・シンポジウム

ヴァナキュラー性（地域性・土着性）は、ポストモダニティーにおける重要なキーワードであり、東日本大震災復興やパラダイムシフトへの対応と重なってきます。今回、中国において、特徴あるヴァナキュラー性を有する3都市：南社村、マカオ、香港をフィールドに「ヴァナキュラーからの変換」をテーマにワークショップを実施しました。全国から集った20名の意欲ある参加者の作品展示会とシンポジウムを行います。各都市の文化を体験する中でコンセプトを見出し、現代化の提案を行う魅力的プロジェクトです。ヴァナキュラーをデザインの要素とする面白さと意味を浮き彫りにします。シンポジウムでは、ヴァナキュラーという文化をデザインに活かす意味、海外にてワークショップをする意味、震災とパラダイムシフトなど、パネラーの作品の紹介と共に、ディスカッションします。

■展示会（会場：BankART Studio NYK　1階 *Mini Gallery*）

2011.12.11日 ～ 17土　11:30 ～ 19:00
入場無料

アクセス：横浜みなとみらい線「馬車道駅」6番出口［赤レンガ倉庫口］ 徒歩4分（BankART1929 Official HP; http://www.bankart1929.com/）

■作品展示

宮地洋（芝浦工業大学大学院）荒谷健道（早稲田大学芸術学校）今野広大（福井大学大学院）大出真裕（東海大学）小林良平（東北大学）太田潮（東北大学）雨宮雅明（東北大学）
島瑞穂（大阪市立大学）亀井一帆（日本大学）種村和之（京都工芸繊維大学）山本純平（京都工芸繊維大学）神戸美由起（福井大学）加藤ひかる（日本女子大学）中里友美（日本女子大学）
服部真友子（日本女子大学）田中裕大（武蔵野美術大学）山下真一郎（武蔵野美術大学） 田中良典（武蔵野大学）東慎也（武蔵野大学）木村あかり（職業能力開発総合大学）

■シンポジウム（会場：BankART Studio NYK　1階 *Mini Gallery*）

Takeo MURAJI

Osamu IKEDA

Kiwako KAMO

Hironori MATSUBARA

Sotaro YAMAMOTO

■日時：2011年12月17日(土)16：00～19：00
＊19：00～21：00懇親パーティ､ﾄﾞﾘﾝｸ＋軽食(*BankARTPub*)
■参加費：1000円(一般)、無料(学生)　　懇親会参加費：2000円
■定員：60名（定員に達し次第、締切らせて頂きます）
■参加申込・問合せ
連健夫建築研究室(大出)宛てに、①氏名②学生or一般③所属④連絡先（TELまたは携帯でも可）を記入しFAXまたはE-mailにて
（有）連健夫建築研究室（tel:03-5549-9887）FAX：03－5549－9889　E-mail：ohide@muraji.jp
■プログラム
16：00～17：00　ワークショップ発表
・主旨とアウトライン　連健夫(建築家・連健夫建築研究室)
・プロジェクトとワークショップの意味　加茂紀和子(建築家・みかんぐみ)
17：15～19：00　パネルディスカッション
・モデレーター：連健夫(建築家・連健夫建築研究室)
・コメンテーター：池田修(BankART1929代表)
・パネラー：松原弘典(建築家、慶應義塾大学SFC准教授)
加茂紀和子(建築家・みかんぐみ)
山本想太郎(建築家・山本想太郎設計アトリエ)

企画：(有)連健夫建築研究室　協力：BankART1929　旅行：トップツアー株式会社

香港・マカオ建築都市ワークショップ2011「ヴァナキュラーからの変換」シンポジウム

ヴァナキュラー性（地域性・土着性）は、ポストモダニティーにおける重要なキーワードであり、東日本大震災復興やパラダイムシフトへの対応と重なってきます。今回、中国において、特徴あるヴァナキュラー性を有する3都市：南社村、マカオ、香港をフィールドに「ヴァナキュラーからの変換」をテーマにワークショップを実施しました。全国から集った20名の意欲ある参加者の作品展示会とシンポジウムを行います。各都市の文化を体験する中でコンセプトを見出し、現代化の提案を行う魅力的プロジェクトです。ヴァナキュラーをデザインの要素とする面白さと意味を浮き彫りにします。シンポジウムでは、ヴァナキュラーという文化をデザインに活かす意味、海外にてワークショップをする意味、震災とパラダイムシフトなど、パネラーの作品の紹介と共に、ディスカッションします。

■日時：2011年12月17日(土)　16：00～19：00(シンポジウム)、19：00～21：00(懇親会)■

■プログラム■

【第一部】16：00～17：00　ワークショップ発表
・主旨とアウトライン　連健夫(建築家・連健夫建築研究室)
・プロジェクトとワークショップの意味　加茂紀和子(建築家・みかんぐみ)
----------休憩(15分)----------
【第二部】17：15～19：00　パネルディスカッション
・モデレーター：連健夫(建築家・連健夫建築研究室)
・コメンテーター：池田修(BankART1929代表)
・パネラー：松原弘典(建築家・慶應義塾大学SFC准教授)
加茂紀和子(建築家・みかんぐみ)
山本想太郎(建築家・山本想太郎設計アトリエ)
【懇親会】19：00～21：00　懇親会、ドリンク＋軽食(***Bank ART Pub***)

■講演者プロフィール

Takeo MURAJI

【連健夫】建築家（連健夫建築研究室主宰）1956 年京都市生まれ、東京都立大学大学院修了、ゼネコン勤務の後、ＡＡスクール大学院留学、ＡＡ優等学位取得の後、同校セドリック・プライスの助手、東ロンドン大学非常勤講師を経て帰国、事務所設立、著書「心と対話する建築・家」「イギリス色の街」等、作品「はくおう幼稚園おもちゃライブラリー」栃木県建築景観賞、こども環境学会デザイン奨励賞受賞、ルーテル学院大学新校舎は 2006 年日本建築家協会優秀建築選、提案論文「信頼される建築とは何か」で最優秀賞受賞。

Osamu IKEDA

【池田修】（BankART1929 代表・PH スタジオ代表）1957 年大阪府生まれ。都市に棲むことをﾃｰﾏに美術と建築を横断するﾁｰﾑPHｽﾀｼﾞｵを発足。以降、展覧会や美術ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ、建築設計等、多岐にわたる活動実施。代表作は広島の「船、山にのぼる」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ。代官山ﾋﾙｻｲﾄﾞｷﾞｬﾗﾘｰﾃﾞｨﾚｸﾀｰ(1986～1991)、2004 年から BankART の立上げと企画運営に携わる。2006 年度文化庁「文化財建造物の保存・活用の推進」委員。芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞、また 2011 年 Bank ART 1929 として横浜文化賞受賞。編著に、「PHｽﾀｼﾞｵ1984-2002」等。

Hironori MATSUBARA

【松原弘典】建築家（北京松原弘典建築設計公司主宰）、慶應義塾大学ＳＦＣ准教授　1995 年東京藝術大学卒業、1996 年ﾓｽｸﾜ建築大学研究生、1997 年東京大学大学院修了の後、伊東豊雄建築設計事務所勤務、2001 年渡中、2002 年～文化庁在外派遣研究員として非常建築研究所、北京大学建築学研究中心勤務、2005 年～現職。主な作品、三里屯ﾋﾞﾚｯｼ北区ｲｰｽﾄ(北京)、Y.HOUSE（北京）、天津天馬国際ｸﾗﾌﾞ（天津）、成都華林小学校紙管仮設校舎（成都、坂茂と協働）で中国建築ﾒﾃﾞｨｱ賞・JAPANﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ国際賞、ｺﾝｺﾞ民主共和国 ACADEX 小学校でＳＤ賞受賞。

Kiwako KAMO

【加茂紀和子】建築家（みかんぐみ共同主宰）1987 年東京工業大学大学院修了、久米建築事務所勤務の後独立、セラヴィアソシエイツ一級建築士事務所設立、NHK 長野放送会館設計競技優勝をきっかけにみかんぐみ結成、現在に至る。設計活動の傍ら東京理科大学非常勤講師、昭和女子大学非常勤講師を務める。作品「NHK 長野放送会館」「八代あけぼの保育園」「愛地球博とトヨタグループパビリオン」等、1993 年東京建築士会住宅建築賞、JCD デザイン賞（2001 優秀），神奈川建築コンクール住宅部門優秀賞（2009）等受賞。

Sotaro YAMAMOTO

【山本想太郎】建築家（山本想太郎設計アトリエ主宰）1966 年東京生まれ、1991 年、早稲田大学修士課程修了。1991 ～ 2003 年、坂倉建築研究所勤務。2003 年、建築家ﾕﾆｯﾄ、ﾌﾟﾛｽﾍﾟｸﾀｰを共同設立。2004 年、山本想太郎設計ｱﾄﾘｴ設立。現在、東洋大学非常勤講師、明治大学兼任講師、工学院大学非常勤講師、日本建築学会情報設計委員会委員。主な作品に『国分寺の家』、『汐留ﾌﾟﾗｻﾞﾋﾞﾙ』、『越後妻有ｱｰﾄﾄﾘｴﾝﾅｰﾚ空家ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ』、『妻有田中文男文庫』など。主な著作に『ﾃｸﾄﾆｯｸ・ｶﾙﾁｬｰ』、『現代住居ｺﾝｾﾌﾟｼｮﾝ』、『Detail Japan TALK』、『建築家を知る／建築家になる』など。

企画：(有)連健夫建築研究室　協力：BankART 1929　旅行：トップツアー株式会社